

教科名	公 民	単位数	2単位	担 当 者	嶋 崎 俊 樹 西 川 司 野 崎 大 三
科目名	政治・経済	年次	2年次		
使用教科書 副教材等	「政治・経済」(東京書籍) 「最新図説 政経 2026」(浜島書店) 「要点マスター 政治・経済 整理と演習」(東京書籍)				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
・現代の政治・経済・国際関係について、基礎的な知識や概念、理論を身につけるとともに、資料や情報から各事象の関係を読み取ることができる。 ・国家や社会の形成者として公正な判断力を持ち、それらをもとに、よりよい社会を形成するための思考力や表現力を高めることができる。 ・民主主義の本質を理解し、政治・経済・国際関係などに関する諸課題について、良識ある公民として主体的に解決しようとする態度を育てている。					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観 点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	国民主権を担う公民として、我が国や国際社会において、よりよい社会の実現のために、現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主 た る 評 価 方 法	定期考査などの筆記試験(年次全体の単元テストを含む)	行動の観察 定期考査 ワークブックにおける作業 プリント、レポート等の作成	行動の観察 ワークブックの提出 プリント等の提出		
評 価 全 体 に 占 め る 割 合	50%	30%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
後期	第1編 現代日本の政治と経済					
	第1章 現代日本の政治 (民主政治の本質を世界の政治と関連させ理解できる)	◎	○	○	a. 現代の政治に関する基本的な理論やしくみを理解し、その知識を身に付けている。 b. 日本の政治動向から課題を見いだし、社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断している。 c. 民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追究しようとしている。	a. 定期考査 b. 行動の観察、定期考査、ワークブックの点検 c. 行動の観察、ワークブックの点検、生徒の自己評価
	1 民主政治の基本原則 2 日本国憲法の基本原則 3 日本の政治機構 4 現代政治の特質と課題					
	第2章 現代日本の経済 (経済活動の特徴や意義、資本主義の特徴について理解できる)	◎	○	○	a. 経済学説を理解し、資本主義経済の特徴について知識を得ている。日本経済の現状と課題に関して基礎的な知識を得ている。グラフや表の数値から、日本経済の特徴を理解することができる。 b. GDP計算や経済成長率、信用創造の理解を、簡易な数値を例に具体的に計算し表現できる。 c. 経済発展のための効率性の追求と、国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を判断しようとする。	a. 定期考査 b. 行動の観察、定期考査、ワークブックの点検 c. 行動の観察、ワークブックの点検、自己評価
	1 現代の資本主義経済 2 現代経済のしくみ 3 日本経済の発展と現状 4 福祉社会と日本経済の課題					
	第3章 現代日本の諸課題 (現代日本の諸課題について政治と経済を結びつけ探求できる。)	○	◎	○	b. 現代日本の政治経済上の諸課題について、問題を明確にし、その対策について考察している。	b. 行動の観察、定期考査、ワークブックの点検、レポート点検
第2編 グローバル化する国際社会						
第1章 現代の国際政治 (国際政治のしくみや、日本と国際社会の関わり、課題を理解することができる)	◎	○	○	a. 現代の国際社会における政治のしくみと現状、課題を理解している。 b. 国際政治について、国内政治との違いをもとに、現状を踏まえて多面的に考察している。 c. 国際的な相互依存関係の深化や紛争の平和的解決について、その特質と解決を意欲的に追究している。	a. 定期考査 b. 行動の観察、定期考査、ワークブックの点検 c. 行動の観察、ワークブックの点検、自己評価	
1 国際政治のしくみ 2 複雑化する国際政治と日本						
第2章 現代の国際経済 (国際経済のしくみや現状、課題を理解することができる)	◎	○	○	a. 自由貿易の考え方、国際収支表の見方や為替レートのしくみなど基本的な知識を得ている。 b. 経済活動の国際比較など多面的・多角的に考察している。 c. 経済のグローバル化の動きに対し、現代経済の特徴を示す諸資料をもとに、政策の効果や弊害について主体的に判断をしようとしている。	a. 定期考査 b. 行動の観察、定期考査、ワークブックの点検 c. 行動の観察、ワークブックの点検、自己評価	
1 国民経済と国際経済 2 世界経済の現状と課題						
第3章 国際社会の諸課題 (現代日本の諸課題について政治と経済を結びつけ探求できる。)	○	◎	○	b. 現代日本や国際社会の諸課題に関する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し、本質を表現することができる。	b. 行動の観察、定期考査、ワークブックの点検、レポート点検	